会派研究研修報告書

令和６年１月８日

常滑市議会議長　殿

繋　代表　伊奈　利信

会派等の研究研修報告を次のとおり提出します。

記

１　期　　日　　令和５年10月25日（水）～26日（木）

２　研　修　名　　全国市議会議長会研究フォーラム

３　場　　所　　西日本総合展示場　新館(北九州市)

４　参　加　者　　伊奈利信（代表）、大川秀徳、中村崇春

５　研修の内容
「全国市議会議長会研究フォーラム
～統一地方選挙の検証と地方議会の課題～」

６　経　　費
別添のとおり

別紙２

令和５年　　繋　視察費

	単価	件数	支払金額	日付	備考
交通費（名鉄）	310	3	930	10/25	常滑駅から中部国際空港駅
交通費（地下鉄）	260	3	780	10/25	福岡空港駅から博多駅
交通費（JR）	1,310	3	3,930	10/25	博多駅から小倉駅
交通費（JR）	1,310	3	3,930	10/26	小倉駅から博多駅
交通費（地下鉄）	260	3	780	10/26	博多駅から福岡空港駅
交通費（名鉄）	310	2	620	10/26	中部国際空港駅から常滑駅
交通費（名鉄）	380	1	380	10/26	中部国際空港駅から西ノ口駅
宿泊費及び 交通費（ANA）	36,500	3	109,500	10/25、26	ANA3859 便（10/25 中部国際空港⇒福岡空港） ANA3864 便（10/26 福岡空港⇒中部国際空港） アパホテル宿泊代
フォーラム登録料	9,000	3	27,000	10/25	全国市議会議長会研究フォーラム登録料
振込手数料	275	1	275	10/25	振込手数料
合　　計		3	148,125		

別紙１

令和５年度　　繋　視察報告書

１．令和５年 10 月 25 日（水）
視察地
福岡県北九州市
「全国市議会議長会研究フォーラム　～統一地方選挙の検証と地方議会の課題～」

令和５年 10 月 26 日（木）
福岡県北九州市
「全国市議会議長会研究フォーラム　～統一地方選挙の検証と地方議会の課題～」

２．視察者
伊奈利信（代表）　大川秀徳　中村崇春

３．視察行程表
令和５年 10 月 25 日（水）

07 時 00 分	常滑駅	
08 時 00 分	中部国際空港	ANA3859 便
09 時 25 分	福岡空港	
09 時 56 分	福岡空港駅	地下鉄空港線
10 時 09 分	博多発	JR 鹿児島本線　区間快速
11 時 31 分	小倉着	地下鉄空港線　筑前前原行き
12 時 00 分	昼食	北九州市内
13 時 20 分 16 時 50 分	全国市議会議長会 研究フォーラム	西日本総合展示場　新館
17 時 30 分	ホテル着	アパホテル小倉駅新幹線口 〒802-0001　福岡県北九州市小倉北区浅野 2-13-22 TEL　093-512-5111
18 時 30 分	夕食	北九州市内

令和５年 10 月 26 日（木）

08 時 30 分	ホテル発	
09 時 00 分 11 時 30 分	全国市議会議長会 研究フォーラム	西日本総合展示場　新館
12 時 00 分	昼食	北九州市内
13 時 07 分	小倉発	JR 鹿児島本線　区間快速
14 時 34 分	博多発	地下鉄空港線
14 時 40 分	福岡空港駅着	

16 時 00 分	福岡空港	ANA3864 便
17 時 20 分	中部国際空港	
17 時 58 分	常滑駅発	常滑駅解散（２名）、西ノ口駅解散（１名）

1.　視察報告

視察	
視察地	福岡県北九州市
視察日時	令和５年 10 月 25 日（水）　13 時 20 分から 16 時 50 分
視察目的	全国市議会議長会研究フォーラム 　～統一地方選挙の検証と地方議会の課題～
説明者	基調講演　片山善博氏 パネルディスカッション　谷隆徳氏、勢一智子氏、辻陽氏、濵田真里氏、田仲常郎氏
調査趣旨	基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」 　片山氏の県知事時代の経験や書籍を基に、地方議会の在り方について講演がありました。 　議会改革ではＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）やＧＸ（グリーントランスフォーメーション）が有効であること、地方議会に欠けていることは真剣な議論がないことや住民の声が届きにくいこと、積極的に取り組むべきことは予算案の修正や税率の変更、そして、議会の常識と市民の常識をすり合わせることなどが重要という内容の講演でした。 パネルディスカッション「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」 　日本経済新聞編集員の谷隆徳氏をコーディネーターに、本年４月の統一地方選挙の総括を中心に行い、現在の課題についてパネリストからの意見がありました。 　統一地方選の振り返りとして、投票率の低下、女性議員の増加、無投票当選が多いことなどが挙げられました。 　課題として、人口減少社会における地方議会の役割、多様な人材の議会への参画、小規模自治体の議員のなり手不足問題、議員に対するハラスメントなどが挙げられ、その解決策や対策が提言されましたが、それらすべてに共通することは、何か一つの対策で解決されることはなく、様々な対策を複数かつ同時に行うことで少しずつ改善に向かっていくということでした。 　常滑市でも、投票率が初めて 50％を下回り、政治離れや候補者不足が深刻な課題になりつつあります。これは有権者にとっても不利益を

	被ることになるため、しっかりした対応を調査研究し、次の世代が政治へ関心を持ってもらう一助とすべく視察しました。
写真	
質疑	
所感	（伊奈） 基調講演では、議会の権限、役割など改めて考えさせられました。パネルディスカッションでは、統一地方選挙の検証、課題をテーマとした内容で、投票率の低下、女性議員の増加、無投票当選の増加など具体的に分かりやすく説明されました。現状と課題について意識を高めるこ

	とができました。 （中村） 　片山氏の基調講演では、議会の役割について、より踏み込んだ役割を果たすことで充実した議会になるのでは、と感じました。パネルディスカッションでは、議会や議員の抱える課題の多いことに驚きました。この課題を少しでも改善しなければ若い世代の立候補はなかなか進まないと感じました。 　（大川） 　片山氏から、議会の権限や役割についてご講演頂きました。議会が市民の代表となり「決める」ことをもっと重いものだと背負い、職責をしっかり果たせば、より責任感あふれる充実した議会にしていけるのではないかと感じました。統一地方選挙の検証、課題をテーマとしたパネルディスカッションでは、地域で選挙のやり方には違いがあるが、議員としての悩みや抱える課題は似た部分はあると感じました。
常滑市への反映	（伊奈） 　議会の持つ権限を最大限に活用し、役割を果たしていくことで、より活性化、より充実した議会運営につながっていくと考えます。 投票率の低下については、広く市民に関心を高めてもらえるような取組や、議会の活性化が必要と考えます。 （中村） 　議員のなり手不足を改善するために、批判を覚悟して待遇の改善を図る必要はあるのではないか、またその議論を始めるべきではないかと思いました。また、ハラスメントなどの環境整備は議会だけでなく、どのような場所でも必要なことなので、定期的な研修会の開催などをすべきではないか、と考えます。 （大川） 　議会の役割や議員の仕事内容・活動など、市民へさらにわかりやすく発信することはわかってはいるが、実践できていない部分など、今の常滑市議会にはまだまだ課題も多い。市民の変化を求めることと並行して、議員の変化の必要性を感じました。他市町の議会・他の議員の取り組みなどを勉強する機会をたくさん実施して、議会活性化を実現させたいです。

視察	
視察地	福岡県北九州市
視察日時	令和５年 10 月 26 日（木）　９時 00 分から 11 時 30 分
視察目的	全国市議会議長会研究フォーラム 　～統一地方選挙の検証と地方議会の課題～
説明者	課題討議　江藤俊昭氏、辻弘之氏、たぞえ麻友氏、永野慶一郎氏
調査趣旨	課題討議「議員のなり手不足問題への取組報告」 　大正大学教授の江藤俊昭氏をコーディネーターに、議員のなり手不足解消の取組を行っている地方議会の議員からそれぞれ紹介してもらいました。 　なり手不足の要因では、魅力が伝わらないことや条件が悪いという『ならない要因』と、地域力の低下や法律による縛りという『なれない要因』に分類され、それぞれで様々な解消法があります。 　北海道登別市議会では、「なり手」を育てる『地方議員養成講座』を開講し、市町議員だけでなく大学教員や道庁職員などが運営委員となっています。受講者 50 名のうち、30 名が立候補し 20 名が当選しました。 　東京都目黒区議会議員のたぞえ氏より、一般社団法人ＷＯＭＡＮ　ＳＨＩＦＴの活動内容を紹介されました。『届きづらい女性の声を政治につなぎ、１つずつ実現していく』ことをミッションに地方議会における女性議員を増やし、続けてもらうことを目指しています。具体的には、ワークショップやママインターンなどを実施しています。 　鹿児島県枕崎市議会では、無投票選挙の克服を目指した４年間の活動を紹介されました。大規模なアンケートや市民との意見交換会を実施しました。議会内でも議員定数適正化及び議員報酬等調査特別委員会を設置し、検討した結果、議員定数２名削減に至りました。 　常滑市においても議員のなり手不足問題は今後顕在化してくる大きな課題であり、具体的に行動を行っている地方議会の実例から、将来の常滑市議会の議員確保や有権者の政治への関心を高める一助とすべく調査研究のため視察しました。

写真	
質疑	
所感	（伊奈） 　なり手不足について、小規模自治体、大規模自治体、女性議員の現状と課題、解決策について説明され、勉強になりました。 （中村） 　議員のなり手不足問題に取り組んでいる議会で、各議員が有権者と目線を合わせて解決策を実施していることは、たいへん参考になりました。 （大川） 投票率の低下や立候補者数の減少は全国的な問題です。今後、無投票をおこさない為に、議員定数、議員報酬、政務活動費の増減や議員の働き方改革、議員の働きやすい環境を整えていくことが我々の役割であると強く感じました。
常滑市への反映	（伊奈） まず立候補時、そして選挙に勝つには、強い決意と家族の同意、何よりたくさんの支援が必要で、誰でも簡単に「議員」になれるわけではないと思いますが、市政や議会に関心を持ってもらえるような取り組みや情報発信を継続していくことが、参画意識の醸成につながっていくと考えます。現在取り組んでいる中学生の子ども議会は継続するべきと考えますし、「若者議会」といった取組も効果的だと思うので実施できるよう調査研究していきたいです。 議員定数の見直し、議員報酬の改善は解決策の一つだと考えます。 （中村） 　最も必要と感じたのは、議員養成講座です。多くの若い世代が政治に関心を持ってもらい、政治の道へ進むことを願っています。中学生と語る会も効果があると考えていますが、講座でより議会への関心を高められると考えています。

	（大川） 若い議員を増やすこと、女性議員を増やすことで、より多くの世代の意見が反映する市議会にしなければならないと強く感じました。 蒲郡市などが行っている「若者会議」など常滑市でも実施したいです。 ハラスメントについては、全国的にも事例が多いので、議員研修を毎年実施しアップデートしていく必要性があると考えます。